

巻頭言

特集「GHG削減に向けた最新動向と取組み」発刊によせて

執行役員 技術研究所長 藤浪 幸仁

ClassNK技報No.8の発行に際して、一言ご挨拶申し上げます。

技術広報誌「ClassNK技報」は、本会の技術活動や研究成果などの公表により、海事産業などへの技術的貢献を図ることを目的に発行しています。前号（ClassNK技報No.7）では、大型化が進むコンテナ船に係る構造設計・評価を安全かつ合理的に行うことを可能とした規則改正、並びにコンテナ船のオペレーションに係る支援サービスにフォーカスした技術動向や最新の研究開発成果等を報告いたしました。

本年7月開催のIMO MEPC 80（国際海事機構 海洋環境保護委員会）において、GHG削減戦略が新たに2023年改定戦略として採択されました。2018年初期戦略では船上排出(Tank-to-Wake)を対象としていましたが、改定戦略ではライフサイクル全体での排出(Well-to-Wake)へ変更されています。また、削減目標レベルも2050年までに最低50%削減だったものが、2050年頃までにネットゼロ排出へと変更され、これまで以上の野心的な目標達成に向けて国際的な規制強化が進められています。本会は、GHG削減技術の開発を支援すると共に、皆様方に関連する最新情報を迅速に提供すべく各種セミナーを開催しております。

本技報No.8では、「GHG削減に向けた最新動向と取組み」と題する特集を組み、GHG排出削減に関する国際的な規制の動向および排出削減を実現するための技術並びに認証手法等の取組みをご紹介します。さらに、種々の研究開発成果や本会の技術活動、IMOの動向等に係る多彩な記事・論文を掲載しています。

本会は今後も社会や業界のニーズを踏まえて、海上における人命と財産の安全確保、海洋環境の保全および社会を先導するイノベーションの創出に資する研究開発に鋭意取組み、海事産業の更なる発展への貢献に努めてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。